

教科を超えるマナビの挑戦 教科横断カリキュラムの可能性

古典×演劇を「窓」として教科横断カリキュラムの可能性を考える

2018.3.21

東京都立日野台高等学校 佐々木宏

発表内容

- 1、日野台高校紹介&自己紹介（2分）
- 2、古典を「窓」に考えてみる（4分）
- 3、演劇を「窓」に考えてみる（3分）
- 4、教科横断カリキュラムの可能性を考えてみる（3分）

日野台高校って、どんな高校？

全日制普通科（男女共学）／中堅進学校／

8クラス×3学年＝全校生徒約720人／

東京都の西端、日野市に所在／屋上から富士山がきれいに見える
／50歳代後半から60歳代の教員が多い。／生徒は素朴。

東京のちょっと田舎のフツートの高校です。

「日本語コミュニケーション」で生徒が作成した学校紹介CMを
ご覧ください。

自己紹介

都立高校教員歴（27年目 29歳～56歳）

- ・ 神津高校 (伊豆諸島神津島) 3年
- ・ 永福高校 (進路多様校) 8年
- ・ 調布北高校 (中堅進学校) 6年
- ・ 深沢高校 (進路多様校) 4年
- ・ 日野台高校 (中堅進学校) 6年目

1、古典を「窓」に考えてみる

「学習指導要領」の文章を手掛かりに、
考えてみましょう

【資料】平成29年3月公示 中学校学習指導要領 国語
中学1年～3年の「我が国の言語文化に関する」事項

・ 中学1年

ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、**古典の世界に親しむ**こと。

イ 古典には様々な種類の作品があることを知ること。

・ 中学2年

ア 作品の特徴を生かして朗読するなどして、**古典の世界に親しむ**こと。

イ 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ること。

・ 中学3年

ア 歴史的背景などに注意して**古典を読むことを通して、その世界に親しむ**こと。

イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うこと。

【資料】平成30年2月14日 高等学校学習指導要領案
第2款 各科目
第2 言語文化 2 内容〔知識及び技能〕

(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。

イ **古典の世界に親しむ**ために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。

ウ **古典の世界に親しむ**ために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。

(以下省略)

実際の授業と、
「学習指導要領」と、
どんな感じでつながってるの？



古典って、受験以外に何か役に立つの？

私、私立文系だから、
受験科目じゃないんだけど…

古典って、どこがおもしろいの？
別に古典知らなくても、生活困らないし…
古典、たのしくない～



それって、
古典の世界に
親しめてない
からじゃない？



古典の世界に親しむ？
Q、「**古典の世界**」って、
何？

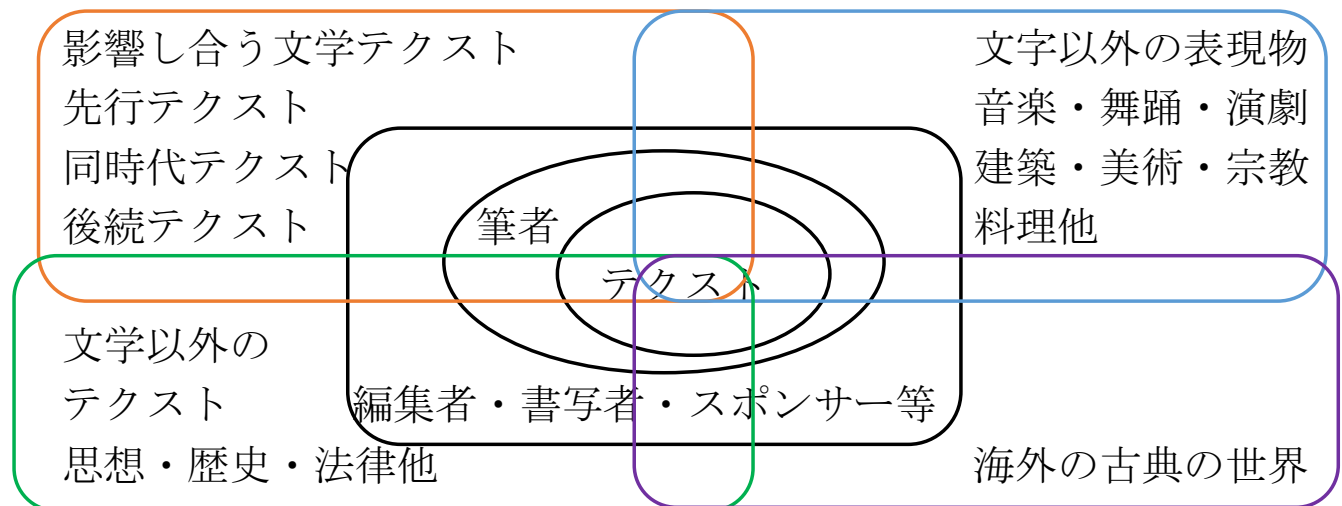
Q、「**親しむ**」って、何？
／どうやって？



Q、〈古典の世界〉って、何？

多様な「古典の世界」

新井隆先生（開成中学・高等学校）の発表を参考に作成



「親しむ」って、何？／どうやって？

古典の世界に親しむ

仮説

「古典の世界」と「親しむ」＝「出会う」
「対話する」



「古典の世界」を楽しむ＝欲望する

〈古典の世界〉との〈通路〉を発見する

多様な〈古典の世界〉＝多様な受容形態

人間は、先行する〈古典〉をその時代時代の多様な欲望に合わせて受容＝表現してきたのではないか。

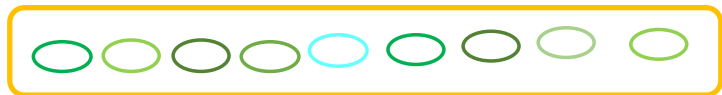
事例①『古今和歌集』

オリジナルの和歌群



新しい意味・価値の創造

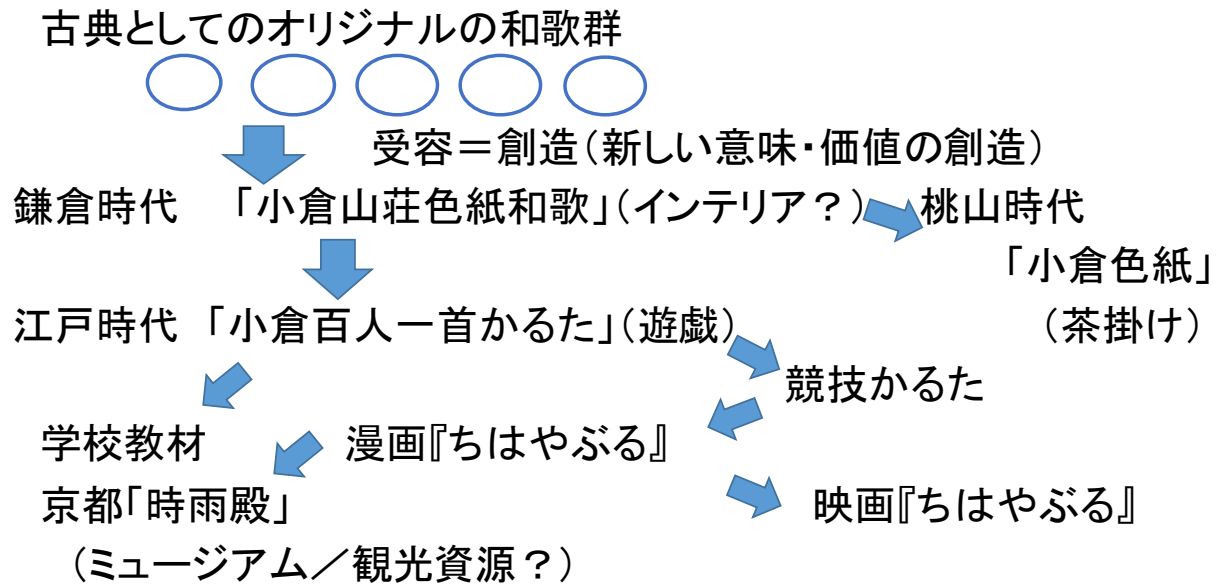
『古今和歌集』



一定の美的センスと形式に基づく選歌・配列による和歌の編集
受容＝創造

オリジナルの和歌に新しい意味・価値が付け加わる。

事例②『小倉百人一首』

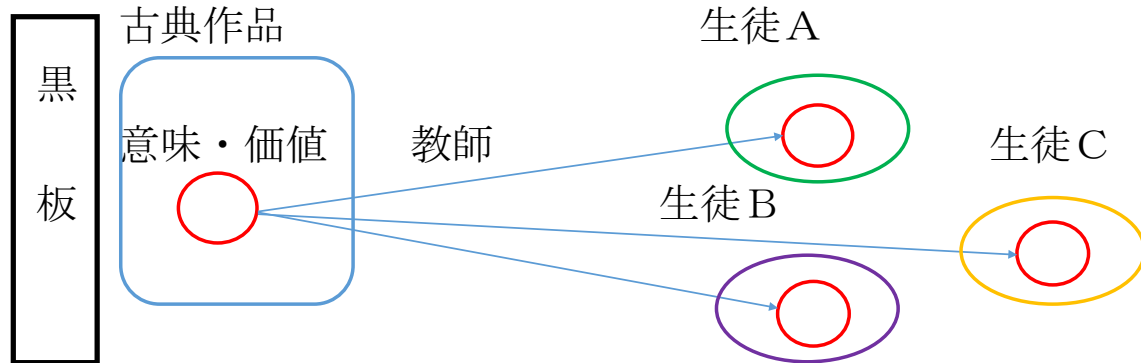


多様な〈古典の世界〉＝〈多様な受容＝創造形態〉

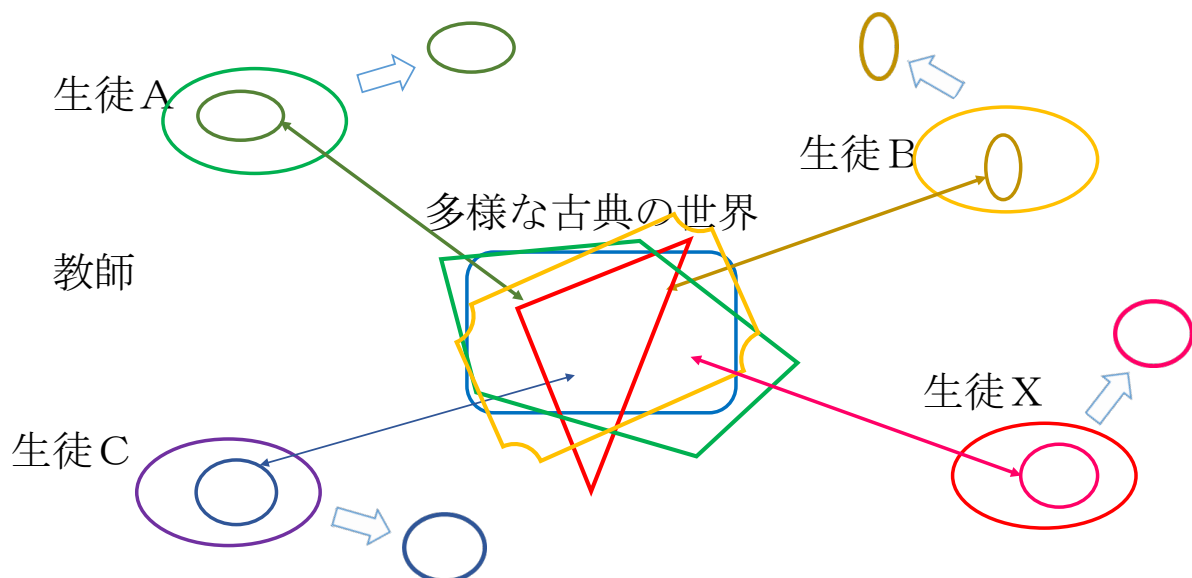
- ・文字テキスト 和歌集 歌集 詩集 翻訳
- ・絵画 絵巻物 絵本 漫画 アニメ 映画 遊び
- ・建築インテリア 襖絵 陶芸 掛け軸 工芸
- ・ファッション 着物 化粧メイク
- ・生活文化 茶 花 料理 酒
- ・身体表現 舞踊 能 文楽 歌舞伎 武術 現代劇 ミュージカル
- ・音楽 平曲 浪曲 民謡 童謡 ラップ
- ・笑い 滑稽本 落語 漫才 コント
- ・宗教/地域創生/観光資源/ビジネスチャンス/現代アート

教師がテキストの文法や知識を説明し
→それを生徒が理解する授業
ゴール=何が書いてあるかが分かること

あらかじめ、古典に、意味や価値が内在されていて、それを、教師が分かりやすく説明して、生徒ができるだけ損なわないように、理解する。



古典の意味と価値は、何らかの形で、人（生徒）がそれに関わろうとする、その関係において、そのつど生成する。



多様な「古典の世界」を多様に「受容創造する」
「対話する＝楽しむ＝親しむ＝学ぶ」
授業をデザインする。



具体的な授業デザインは一人一人の教師と生徒に委ねられて
いる。



生徒／教師、一人一人がそれを発見しながら、学び続ける。

古典の授業をデザインする際のアプローチ・イメージ

教師／生徒が「古典の世界」へ近寄っていく

×

「古典の世界」から教師／生徒の方に近寄ってきてもらう

授業デザイン事例

多様な「古典の世界」と出会い対話し楽しむ
授業をデザインする

和歌×演劇の授業

2、演劇を「窓」に考えてみる

演劇を取り入れた授業

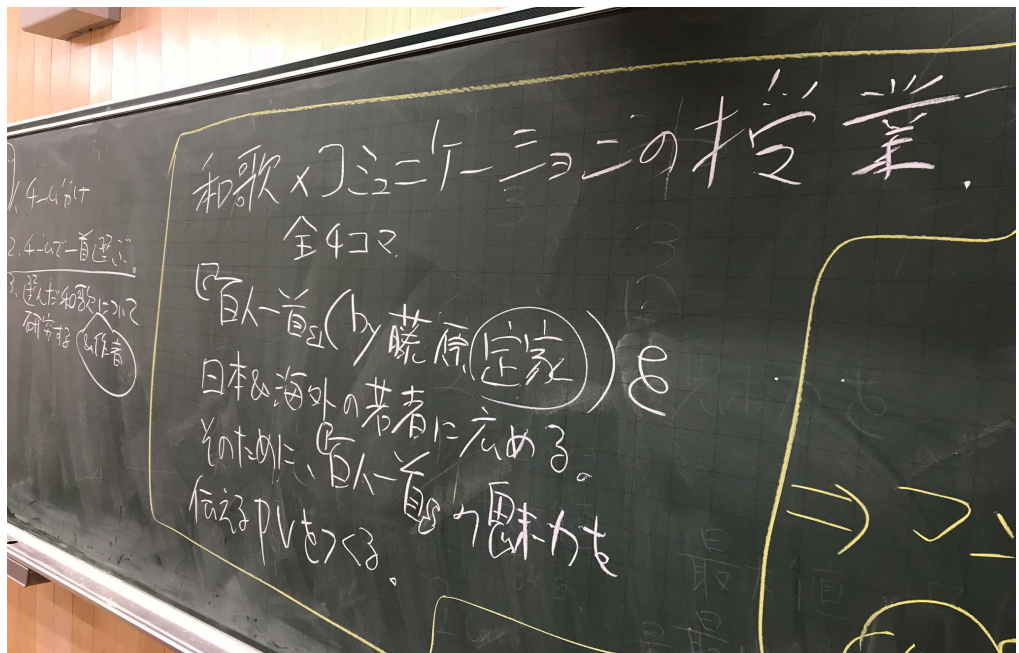
2017年度2年生 和歌×演劇
NPO法人×文科省×日野台高校

【目的】 「百人一首」を素材にして、和歌の魅力在日本
／海外の若者に広める。

そのために、

【内容】 「百人一首」から和歌を1首選んで、作者と詠歌
の状況を演劇シーンにして、動画に撮って発信する。

文科省
WS和
歌
2018.2月



和歌を選
ぶ

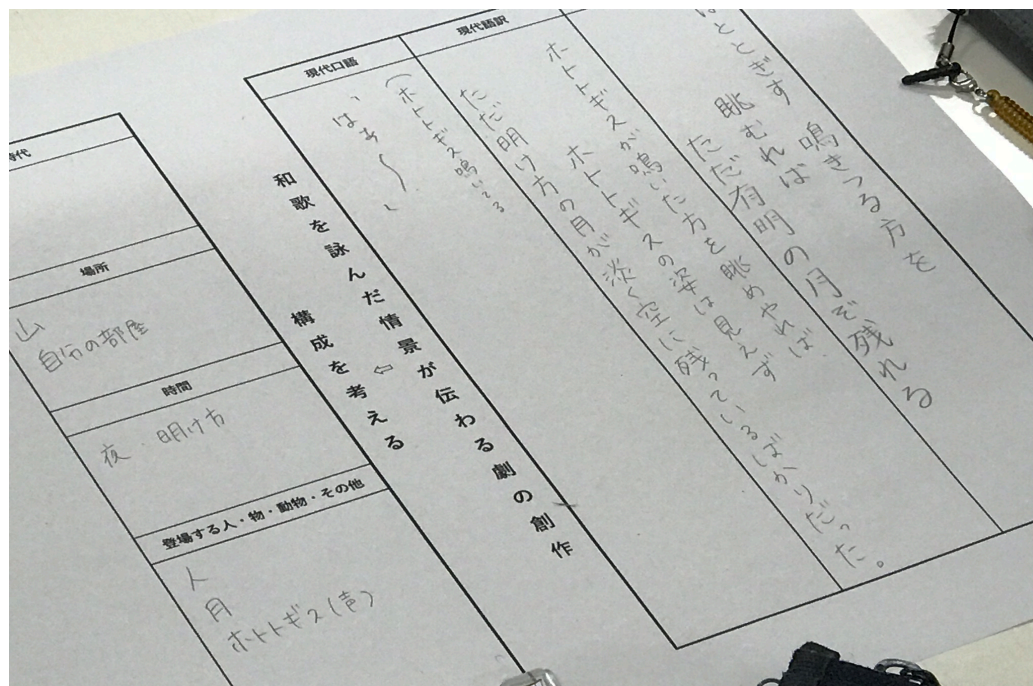


プロッ
トをつ
くる

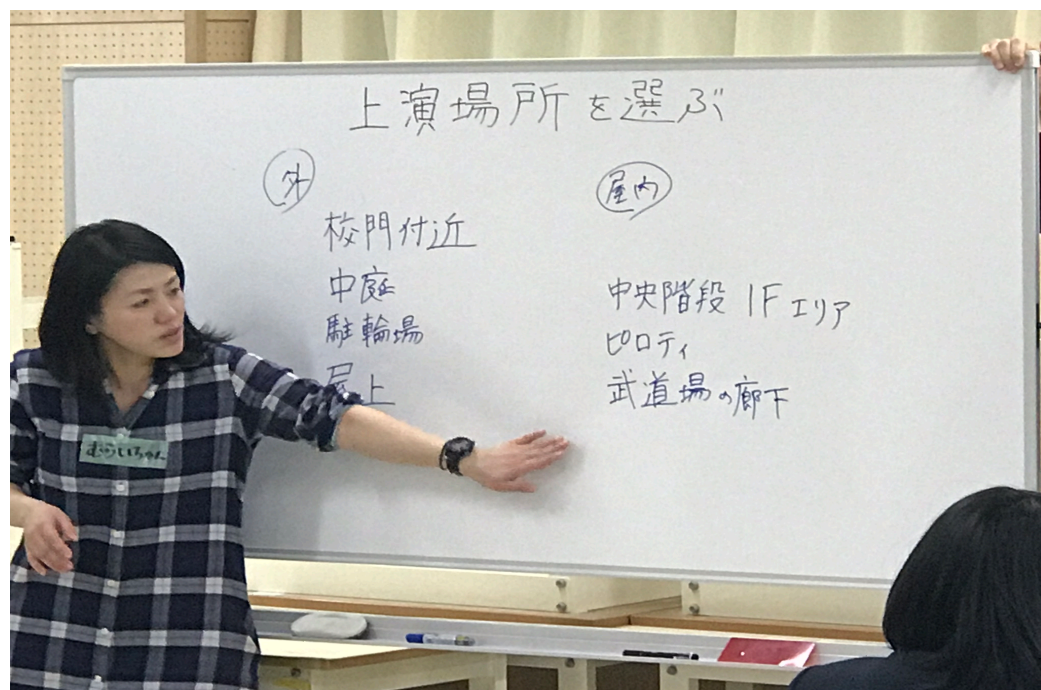
ここか
らアー
ティストが授
業に入る。



プロットをつくる



上演場所を選ぶ



シーンを
立ち
上げる



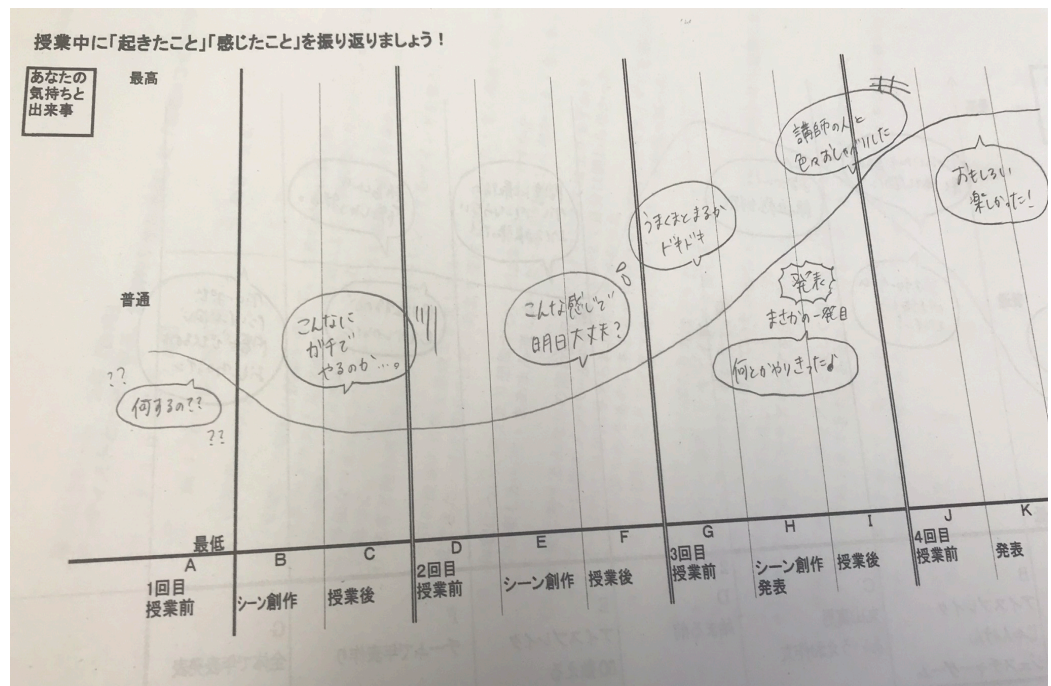
発表す
る



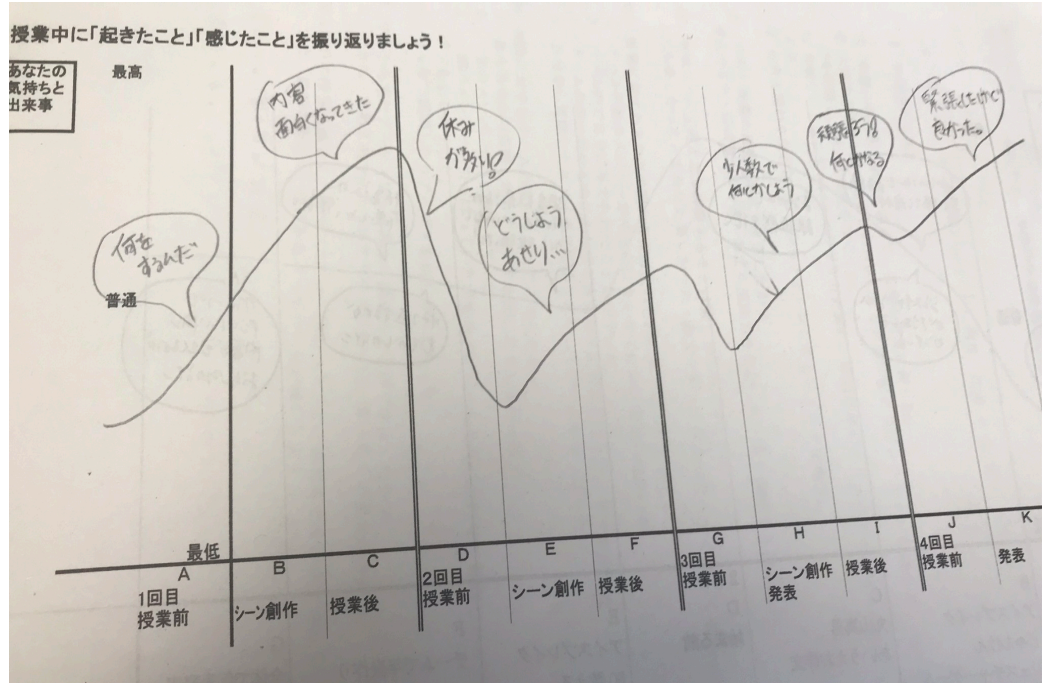
振り返る



振り返る



振り返る



振り返る

「解釈が難しい和歌だったのですが、演劇にするのが大変だったけど、進めていくうちになんとなく自分たちなりのストーリーが出来てきたので良かった。」

【この授業の目的】

- ① 「和歌」の解釈と創造を通じて、古典の世界に親しむ。
- ② 古典のテキスト及び他者との対話による言語活動とリフレクションを通じて、深い学びを経験し、学ぶ主体性を高める。
- ③ 多様なコミュニケーションの在り方を認め、自分自身のコミュニケーションの在り方に気づく。
- ④ 他者と関わりながら、自分からチャレンジするマインドを養う。

Q1、今回の授業の目的を達成できましたか？
達成できた・ほぼ達成できた・あまり達成できなかった・全く達成できなかった

Q2、和歌について考えたり想像することは楽しかったですか？
とても楽しかった・まあまあ楽しかった・あまり楽しなかった・全く楽しなかった

Q3、授業に対するあなたの関わり方は次のどれにあてはまりますか？
a チームの他のメンバーがやるのにまかせて自分は関わらなかった
b チーム内で自分に与えられたことだけやった
c チームの誰かがやるのにあわせて自分なりに質問したりアイデアを出したり
d 自分から質問したりアイデアを出したりしてチームを引っばった

Q4、授業に対するチームの関わり方はどうでしたか？
a 誰も自分から質問したりアイデアを出したりしなかった
b 一部のメンバーだけにまかせていた
c 一部のメンバーが引っばっていたが他のメンバーもそれに合わせて質問したりアイデアを出したりした。
d みんなで質問したりアイデアを出し合ったりした

Q5、学外から来たアーティストと楽しく関わることができましたか？
よくできた・まあまあできた・あまりできなかった・まったくできなかった

第4回目の授業を通じて、気づいたこと・分かったこと・感想などを自由に書いてください。また、講師の皆さんへ愛のあるメッセージをお願いします！

解釈が難しい和歌だったのですが、演劇にするのが大変だったけど、進めていくうちに自分たちなりのストーリーが出来てきたので良かった。また、講師の皆さんへ愛のあるメッセージをお願いします！

演劇を取り入れた授業を通じて生徒が気づくこと

- ・ 人（他者／自分）には、いろんな長所がある！
- ・ コミュニケーションの取り方はいろいろあって良い！
- ・ 自分から一歩踏み出すと楽しい！何かが生まれる！
- ・ カラダとアタマとココロはつながってる！
- ・ 成果を発表し合うと肯定感が生まれる！
- ・ 教師じゃない大人と一緒に学ぶと楽しい！

演劇を取り入れた授業を通じて 教師が気づくこと

- ・ コミュニケーション力、思考力、表現力、判断力等の諸能力（コンピテンシー）は、身体を持った固有の存在としての多様な個人に深く根ざして多様に形成される。
- ・ 教師ではないその道の専門家と一緒に学ぶと、生徒の学ぶ力が大きくなる！
- ・ 演劇を取り入れると、生徒とその集団の、自己変容に対する開かれ方がくつきりと浮かび上がる。

自己変容／自他の関係の変容を促す学びへ
生徒・教師が、身体を介して関わり合う体験を通じて

集団内の既存の自己イメージ／自他の関係
(キャラ／外見／学校偏差値／教室内カスタ等)



一人一人が固有の存在として感受されてくる。

「コミュニケーション能力」が実際に発揮されるのは、
そのつどの具体的な固有の場である。

NPO法人PAVLIC × 日野台高校 高齢者介護施設で高齢者と遊び、対話する



2016.10
演劇アー
ティストと一
緒に介護
施設で
高齢者と対
話しながら、
話を聴く。



介護施設
での体験
を語り聴
き、再現
するリフ
レクショ
ン



介護施設での
体験を
語り聴き、
再現する
リフレク
ション



私が授業で目指してきたこと

1

多様な切り口から古典の世界にアクセスする授業を通じて、生徒が自分の興味関心に合わせて古典の世界の魅力を感じ取り、感じ取った魅力を創造的に表現できる力(センス)を生み出す。

私が授業で目指してきたこと

2

身体(声)にフォーカスした演劇的手法を授業に取り入れることで、既存の評価システムによって価値づけられた(例えばキャラ、学校偏差値、教室内カースト等)自分や他者へのまなざしを解除し、かけがえのない固有の存在として、自分や他者を共感的、肯定的に受け入れていく力(センス)を生み出す。

私が授業で目指してきたこと

3

アーティストが授業に入ることによって、教師(教える人)と生徒(教えられる人)という固定した関係を解除し、学びの関係を多様化する。また、学校を、様々な仕事や活動に携わっている市民が集まり、授業に関わる場にしていく。

私が授業で目指してきたこと

楽しむ！